

東日本大震災前後の南関東の盲ろう者による 情報入手量の変化

北村弥生(国立障害者リハビリテーションセンター)

目的: 災害時に聴覚障害者は避難情報や避難所での情報入手に困難があること、視覚障害者は通常とは異なる避難経路や避難所内の事物を認知できない困難があることは、すでに知られている。また、支援者も被災するために、障害者は通常の支援を得ることができないことも課題である。しかし、これらの困難の定量的な算出は通常は困難である。本研究では、東日本大震災(以下、震災)前後に、南関東の宿泊型訓練施設で、視覚と聴覚の重複障害者である盲ろう者に1日12時間半、通訳・介助者が試験的に配置され、その業務内容の記録があったため、十分な情報補償があった場合に、盲ろう者の生活と支援体制のうち情報入手量に、震災前後でどのような変化が起こったかを報告する。

方法: 平成22年度、23年度に厚生労働省、国立障害者リハビリテーションセンター(以下、国リハ)、全国盲ろう者協会などは連携して盲ろう者宿泊型生活訓練等モデル事業(以下、モデル事業)を行った。盲ろう者の特性にあった宿泊施設における訓練方法を開発することがモデル事業の目的であり、通訳・介助者を盲ろう者に対して、毎日、8時半から21時まで12時間半、3交代で一对一に配置し、その効果を明らかにすることが目標のひとつとされた。そこで、通訳・介助員業務報告書に記入された業務時間のうち「情報入手」業務と「通訳」業務のうち「テレビニュース」と内容欄に記入があった時間を集計し、震災前後の一日平均テレビ視聴時間を比較した。その他に、業務報告書の自由記載から震災に関わる事項を抽出し、整理した。



図1 通訳・介助者(左)から、テレビ画面の内容と字幕を触手話で通訳される弱視ろうの盲ろう者(右)。



図2 宿泊施設のリビングで、通訳・介助者(右端)は盲難聴の盲ろう者に本を代読している。左端の通訳・介助者は、弱視ろうの盲ろう者の手話を読んで会話している。

結果:

- ・通訳・介助者を介した一日平均情報入手は、震災日から6日間は震災前10日間の4.25倍(幅1.43~9.48倍)で個人差があり、年長で保有視力が低い場合に増加が大きかった。
- ・震災直後に訓練は中断され、全員がテレビニュースを視聴した。震災後2日目と3日目は、ほぼ終日、テレビはつけられており、ニュース映像は通訳・介助員の視野には入っていたが、通訳された時間は一日平均91分(30-220分)に留まった。
- ・震災後2日目から7日目には、通訳・介助員の欠員もあり、最も保有視力の高い利用者の「情報入手」時間は記録されない日もあった。
- ・3月14日の原子力発電所爆発後に、ニュース視聴時間が増加したのは音声通訳を利用する利用者Dのみであった。
- ・「情報入手」と「テレビ通訳」の合計比率が2月までの水準に戻ったのは5月であった。
- ・震災の津波被害の映像を言葉で説明することの困難さが業務報告書に記載されたが、ラジオの利用を提案した利用者も通訳・介助者もいなかった。また、テレビ放送の要約筆記がボランティアらによりインターネットを介して実施されていたことや、インターネットでテレビ放送の手話通訳と字幕放送が見られたことを盲ろう利用者も担当の通訳・介助員も知らなかった。

考察:

- ・テレビ視聴時間は、平時も震災後も全国平均の1割程度にすぎず、盲ろう者の慢性的な情報不足が量的に明らかになった。盲ろう者がテレビを視聴する方法の開発、メールやインターネットによる緊急時情報の入手方法を事前に提供すること、緊急時の情報提供の配慮は有効であると考え。
- ・先天性ろうの盲ろう者について、原子力発電所爆発事故後のニュース視聴が増えなかったことは、概念理解の制約があったことを示唆する。抽象的な概念を手話で伝達することは困難であるため、生命の危険に関わる情報は事前教育により理解を定着させる必要があると考え。

表1 東日本大震災発災日から6日間の盲ろう者による情報入手時間(分/日)

利用者	11日	12日	13日	14日	15日	16日
A	190	0	135	100	30	60
B	190	30	150	90	80	30
D	150	115	195	20	150	75
E	0	220	0	—	30	100
平均	110	91.25	120	70	72.5	66.25

—は、通訳・介助者の欠員を示す。

表2 東日本大震災前後の盲ろう者による情報入手平均時間の変化(分/日)

利用者	3月1日~10日	3月11日~16日	比
A	31	85.8	2.8
B	14.5	95.0	6.6
D	11.5	117.5	10.2
E	12.5	70.0	5.6
平均	17.34	92.1	5.3

表3 2月を基準にした盲ろう者による一日あたりの情報入手平均時間比

利用者	3月	4月	5月	6月
B	1.5	1.5	0.8	—
D	1.4	1.8	1.2	0.6
平均	1.45	1.65	1	0.6